

先行策定市町村における行動計画案について

1. 先行策定市町村の趣旨

「次世代育成支援対策推進法」に基づき、全ての市町村及び都道府県は、16年度末までに次世代育成支援についての地域における行動計画を策定することとされている。

このため、各市町村が円滑に計画を策定できるよう、53の市町村に平成15年度に先行して行動計画案を策定していただき、各自治体の参考に供することとした。

2. 先行策定53市町村一覧

都道府県名	市町村名	都道府県名	市町村名	
北海道	札幌市	静岡県	駿東郡長泉町	
	岩見沢市		愛知県	高浜市
	勇払郡早来町			西春日井郡師勝町
	網走郡美幌町			東加茂郡足助町
岩手県	宮古市	滋賀県	守山市	
宮城県	岩沼市	京都府	舞鶴市	
	遠田郡田尻町		大阪府	枚方市
山形県	最上郡最上町			四条畷市
福島県	喜多方市	兵庫県	伊丹市	
	西白河郡表郷村		奈良県	橿原市
	双葉郡葛尾村	鳥取県		岩美郡岩美町
茨城県	水戸市			日野郡日南町
埼玉県	新座市	岡山県	岡山市	
	秩父市		都窪郡清音村	
千葉県	市川市	広島県	三次市	
	佐倉市		山口県	宇部市
	印旛郡栄町	香川県		善通寺市
東京都	世田谷区	高知県	南国市	
	新宿区	福岡県	朝倉郡夜須町	
	足立区		佐賀県	佐賀市
	三鷹市	長崎県		佐世保市
神奈川県	秦野市	熊本県	八代市	
福井県	福井市		菊池郡大津町	
	坂井郡丸岡町		阿蘇郡一の宮町	
山梨県	山梨市	大分県	津久見市	
	南都留郡山中湖村		鹿児島県	鹿児島市
長野県	佐久市			

3. 行動計画案に位置づけられた特色ある事業例

【地域における子育て支援】

(1) 地域における保育・子育て支援サービスの充実

- 待機児童解消のための保育所の大幅な整備（北海道札幌市）
待機児童と超過入所の解消のためには、1,500人程度の定員増が必要であることから、平成19年4月における待機児童と超過入所の解消をめざし、平成16年度から18年度までの3年間で1,500人の定員増に努める。
- つどいの広場事業を中学校区に1箇所程度設置（埼玉県新座市^{にいざし}）
当面、地域的な偏りに配慮しつつ、中学校区で1箇所程度（全体で6箇所）設置するとともに、最終的には小学校区（17）で1箇所の設置を目指す。
- 地域の子育て支援センターとしての児童館の運営（長野県佐久市）
市内10小学校区全てに児童館を設置しており、小学生が来館しない午前中には、地域の子育て支援センターとして、就学前の児童とその保護者を対象に「児童館午前中開放」や「子育てサロン」を実施するとともに、各児童館長が家庭相談員を兼務し、「家庭児童相談」も行う。
- ファミリー・サポート・センター機能の充実（長崎県佐世保市）
子育て家庭の幅広いニーズに柔軟に対応できるよう、登録会員数を大幅に増加（現状：408人→目標：800人）させ、ファミリー・サポート・センター機能の充実を図る。

(2) 総合的な情報提供

- 就労者も利用しやすい子育て総合窓口の設置（愛知県高浜市）
就労者も利用しやすい相談窓口とするため、子育てに関する総合的な施設「（仮称）子育て支援総合センター」を開設し、土日や休日、早朝、勤務時間終了後などにも利用できるようにする。
- 子育て情報のホームページの構築（山口県宇部市）
行政・民間サービスを問わず、子育てに関する各種情報（行政子育て支援サービス、民間保育サービス、リサイクル情報、子ども連れ大歓迎のお店情報、おむつ替え設備のある施設情報、子育て関係団体の活動紹介など）について、総合的に提供するホームページ「（仮称）うべ子育てインフォメーション」を構築する。

(3) 子育て支援のネットワークづくり

- 楽々子育てメーリングリスト事業（福島県喜多方市）
育児教室に参加した保護者を対象に、インターネットで参加する育児サークルの実施を推進する。

- 「子育て応援隊」の設立（福島県葛尾村^{かつらおむら}）
高齢者をシルバー人材センター事業などを通じて「子育て応援隊」として登録し、保育所の保育補助やミニ子育てサポートセンターにおいて活用を図り、世代間交流や高齢者の生きがいを高める仕組みづくりに取り組む。
- 人材登録バンク（広島県三次市^{みよしし}）
子ども会、子育てサークル等の地域活動を充実するため、豊富な人生経験の中で培った専門知識、技能、資格等を持つ人を登録し、支援を必要とする個人、団体、グループ等に紹介する。
- 地域子育て支援協議会の設置（京都府舞鶴市）
21小学校区の全地区に、PTA、自治会などの団体や熱意ある個人により「地域子育て支援協議会」を組織し、子育てに関する講演会の開催、地域の人が得意なことを教える「まちの先生」制度など、各協議会での個性的な活動を推進する。

【母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進】

- お父さんのための子育て手帳の配布（茨城県水戸市）
初めて父親となる人に対して、妊娠・出産・育児についての知識や情報を記載した手帳を配布する。
- 食育プログラムの作成（熊本県大津町^{おおづまち}）
地産地消・食育を進めていくため、関係機関の栄養士・家庭科教諭からなる「食育推進連絡会」（仮称）を設置し、町としての統一した食育プログラムを作成する。

【子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備】

- 人生と結婚を考えるセミナーの開催（京都府舞鶴市）
若者たちを対象に、人生設計や結婚を考えるセミナーを開催する。
- ドリームトークの実施（高知県南国市）
魅力ある街づくりについて考えることを目的として、学校生活や南国市についての思いや日頃感じていることなどを、市内4中学校の生徒と市長が語り合う「ドリームトーク」を毎年度実施する。

【子育てを支援する生活環境の整備】

- 男性トイレの子育てバリアフリー化（長崎県佐世保市）
公共施設等の男子トイレにベビーチェアやベビーベッドを整備することを通じて、父親の子育てに関する意識浸透を図る。

【職業生活と家庭生活との両立の支援】

- しかつグッドファーザー大賞制度の創設（愛知県師勝町^{しかつちよう}）
「しかつグッドファーザー大賞制度」を創設し、子育てに積極的な父親の好事例をモデルとして紹介する。

【要保護児童の対応などきめ細かな取組の推進】

- 地域連携推進室の設置（岡山県岡山市）
市教育相談室内に教育・福祉・保健の連携のもと、虐待やいじめ・不登校など子どもたちをめぐる諸課題の解決をめざす、総合的な連絡調整を行う地域連携推進室を設置する。

4. 行動計画案の策定過程に特色がある市町村

【北海道早来町^{はやきたちよう}】

- 関係団体等の代表者で構成する「行動計画策定委員会」、公募一般町民と役場の子育て担当者で構成する「次世代育成支援推進協議会」、役場の課長（参事）で構成する「行動計画策定検討委員会」の他に、町子ども育成連絡協議会の協力を得て、町内各自治会において子ども総会を開催し、各地域の子どもの視点から見た課題等の意見をとりまとめるとともに、代表者による「子どもサミット」を開催し、報告・検討を実施。今後も引き続き「子どもサミット」を開催し、子どもの意見表明や子ども自身の企画による社会参加の機会の充実を図ることとしている。

【埼玉県新座市^{にいざし}】

- 公募による市民や学識者、地域活動団体の代表などによる「新座市次世代育成支援行動計画策定委員会」を設置して、ほぼ毎月1回のペースで、議論・検討を進め、中間取りまとめ案を策定。中間取りまとめ案については、全戸配布したほか、広く市民から意見を聞くための託児付きの公聴会を開催するとともに、公聴会に参加できない市民のための「市長への手紙」、「市長へのFAX」、「市長へのメール」を実施した。

【広島県三次市^{みよしし}】

- 策定委員会への提言機関として、「子育て応援市民会議」（31人公募）を設置し、3つの分科会に分かれ、メンバーが自主的に会議を進める方式を採用。幅広い分野の方々が、生活者の視点から多くの提言を提出。当市民会議には、今後も子育て支援の実施協力・評価・更なる提言を依頼する予定である。